

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思えます。

平成29年3月の新設住宅着工は75,887戸で、前年同月と比較すると、持ち家と分譲住宅は減少しましたが、貸し家が増加したため、全体で0.2%の増加となりました。先月の減少から再びの増加です。

季節調整済み年率換算値は984,000戸。前月比4.7%増で、先月の減少から再びの増加で持家は21,468戸で前年同月比3.6%減、先月の増加から再びの減少。

貸し家は33,937戸で、11.0%増、17か月連続の増加。

分譲住宅は19,727戸で10.8%減、2か月連続の減少。

内、マンションは8,549戸。24.3%減、2か月連続の減少。

一戸建て住宅は11,041戸。3.4%増、17か月連続の増加。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比5.8%増、中部圏1.5%減、その他地域は3.8%減で近畿圏は、対前年同月比0.4%減です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀7.7%増、京都7.6%減、大阪9.6%増、兵庫21.3%減、奈良5.2%減、和歌山22.7%増でした。

東京は対前年同月比9.5%増、愛知は1.2%増です。

民間非居住建築物は、前年同月との比較では、事務所、店舗、工場、倉庫が減少したため、全体で減少となりました。

全建築物の着工床面積は、978万m²で、前年同月比6.8%減です。

8か月ぶりの減少です。

民間非居住用の事務所は35万m²で前年同月比15.7%減、4か月ぶりの減少。

店舗は38万m²で14.1%減、3か月連続の減少。

工場は50万m²で21.9%減、3か月ぶりの減少。

倉庫は63万m²で28.4%減、2か月連続の減少。

全建築物の近畿の府県別対前年同月比は、滋賀12.4%増、京都9.5%増、大阪11.8%増、兵庫5.4%減、奈良7.9%増、和歌山13.4%減でした。

東京は対前年同月比22.0%減、愛知は22.0%減です。

環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO₂吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることが、環境を良くすることをご理解いただけたら幸いです。

NO. 1 仮設材について

仮設材の流通在庫は概ね安定しています。

円安基調のため、矢板関係は今後値上げ気味です。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

栈木は仮囲い用の仮設栈(栈木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米楯材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

養生ベニヤ12mmをご用意しています(12mm x 900mm x 1,800mm)。

その他、養生ベニヤ用として、2.5mm・5.5mm・9mmの3尺x6尺を在庫しています。

両面フェースはラワンです。芯材はポプラです。

NONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。

NO. 2 米松梁材について

米材は現地原木価格が上昇していますが、今のところ高値横ばい状況です。

NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材の流通在庫は、低いレベルでの需給バランスの安定で落ち着いています。価格は横ばいです。米松羽柄材は現状横ばい傾向で、品薄です。ロシア赤松材は強含み傾向です。

NO. 4 国産構造材について

桧・杉材ともに供給は今のところ安定しています。原木市場への出材量が増えてきました。杉・桧ともに価格は横ばいです。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。

そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米椀無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。

NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。

NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

ラワン合板の価格は横ばい傾向ですが、合板・丸太の現地6月積み価格の値上げにより、価格上昇が予想されます。

依然、針葉樹合板の品薄感は解消されつつありますが、依然少ない状況です。価格は横ばいです。

ケイカル板は、5mmに代わって6mmを在庫しています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

特に、内装ドア、造作材、床材などの内装建材のサービスが充実しています。

NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウール・ロックウールともに、安定しています。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。

NO. 12 接着剤について

今のところ、大きな状況の変化はありません。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。

NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。

NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーとも安定。

建材品で、パナソニックの供給体制は全くの正常です。



お陰様にて、”きごころサロンまつり2017” 盛況に開催させていただきました。 ありがとうございます。

大阪府の補助金事業「木のぬくもり推進事業」

民間の幼稚園や保育園、認定こども園などでの「木育」を推進するために、施設の木質化を図っていきこうという事業です。

山忠木材は、この事業にまじめに取り組んでいます。



地産地生 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地域と自社の活性化のために活動しています。

「おおさか木の家づくり隊」は、大阪の木を使った、良質な住まいづくりを目指しています。

「木のぬくもり推進事業」と、耐震工法「壁柱」の普及に努めています。



— 福祉

健康福祉用品・介護用品を販売しています。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者です。

介護用品レンタルも始めました(介護保険適用外)。

介護保険適用事業所 たろうの店 きごころ

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」事業所番号2772701435



安らぎ — 耐震

耐震診断・耐震相談など、お声がけください。

耐震リフォームの時など、ご相談ください。

木材業界と京都大学が編み出した耐震工法「壁柱」を推進しています。



思いやり — エコロジー

エコライフ・エコ商品のご提案をします。

エコリフォームの時など、ご相談ください。

エコライフのためのアドバイス、太陽光発電などのエコ商品を販売しています。



日本の和 — 和室

和室をテーマに活動しています。

日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。

ご用命よろしくお願ひ申し上げます。



山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784